

福津市の地域福祉に関する調査を実施しています

【調査へのご協力のお願い】

皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

福津市では、「みんなが安心して生活できる共生のまちづくり」を目標に策定した第3期福津市地域福祉計画・第2期福津市地域福祉活動計画の計画期間が令和9年3月までとなるため、次期計画の策定を予定しています。本調査は、第3期地域福祉計画・第2期活動計画の評価を行うとともに、次期計画を策定するにあたり、市民の皆様の意見を反映し、市民の求める福祉行政を遂行できるよう実施しています。

調査対象者の選定は、令和7年11月1日現在のデータを元に、市内にお住まいの20歳以上の方2,000人を無作為に抽出し、調査票を送付しています。調査は全106問で、回答時間はおおよそ15分です。回答は、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されることはなく、福津市の福祉行政を検討する目的以外に使用することはありません。

お忙しい中、お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

令和7年11月 福津市長 福井 崇郎

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票は、あて名のご本人が記入ください。

※ご本人が何らかの事情で記入が難しい場合は、ご家族またはご本人のことをよくわかっている方がお手伝いください。

2. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて○月○日()までにポストに投函してください(住所やお名前を書く必要はありません)。

3. この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。



〈お問い合わせ〉

福津市役所 福祉課 福祉総務係

電話:0940-43-8188

FAX:0940-34-3881

問1 あなた自身についておたずねします。当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

ア. 性 別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答を控える
イ. 郷づくり地域※1	☐ 福間 ☐ 福間南 ☐ 神興 ☐ 神興東 ☐ 上西郷 ☐ 津屋崎 ☐ 宮司 ☐ 勝浦
ウ. 年 代	☐ 20 歳代 ☐ 30 歳代 ☐ 40 歳代 ☐ 50 歳代 ☐ 60 歳代 ☐ 70 歳代 ☐ 80 歳以上
エ. 世帯構成	☐ 一人暮らし ☐ 夫婦のみ ☐ 二世帯世帯(親と子) ☐ 三世帯世帯(親と子と孫) ☐ その他 ()
オ. 福津市での居住年数	☐ 1 年未満 ☐ 5 年未満 ☐ 10 年未満 ☐ 15 年未満 ☐ 20 年未満 ☐ 25 年未満 ☐ 30 年未満 ☐ 30 年以上 ☐ 不詳
カ. 通勤・通学について	☐ 福津市内 ☐ 古賀市 ☐ 宗像市 ☐ 福岡市 ☐ 北九州市 ☐ その他の市外 ☐ 通勤・通学をしていない
キ. 自治会への加入について	☐ 加入している ☐ 加入していない ☐ わからない
ク. 福津市への愛着度合	() 点 (1点から100点で数値を記入してください)

※1. 郷づくり地域がどこかわからない方は、下記の表を参照ください。

福 間	花見 1～4、南町、緑町、本町、福間松原、昭和、西福間 1・5、古町、大和 1・2
福間南	四角、両谷、原町 1～3、有弥の里 1・2、光陽台 1～3、光陽台南、日蔭野 1～6
神 興	手光、手光 2、冠、小竹、東福間 1～12、高平、光陽台 4～6
神興東	通り堂、津丸、久末、八並、若木台 1～6、桜川、あけぼの、三角
上西郷	畦町、本木、舎利蔵、内殿、上西郷、上西郷自治
津屋崎	在自、須多田、大石、生家、梅津、末広、渡、東町 1・2、天神町、新成区、堅川、岡の 2・3、新町、北の 1・2、五反田、新東
宮 司	善福、的岡、宮司 1～3、宮司西、宮司ヶ丘、星ヶ丘
勝 浦	奴山、桂区、西東、勝浦浜、勝浦松原、塩浜

問2 あなたは、1から17にあげる内容について不安を感じていますか。「とても不安である」から「全く不安でない」の中で当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

		全く不安でない	あまり不安でない	どちらともいえない	やや不安である	とても不安である
例	自分の健康や病気について	☐	☐	☐	☒	☐
1	自身の健康や病気について	☐	☐	☐	☐	☐
2	家族の健康や病気について	☐	☐	☐	☐	☐
3	自身の生活変化について(進学、就職、結婚、離婚など)	☐	☐	☐	☐	☐
4	家族の生活変化について(進学、就職、結婚、離婚など)	☐	☐	☐	☐	☐
5	自身の老後や介護について	☐	☐	☐	☐	☐
6	家族の老後や介護について	☐	☐	☐	☐	☐
7	自身の金銭事情について	☐	☐	☐	☐	☐
8	家族の金銭事情について	☐	☐	☐	☐	☐
9	家族との人間関係について	☐	☐	☐	☐	☐
10	近所との人間関係について	☐	☐	☐	☐	☐
11	職場での人間関係について	☐	☐	☐	☐	☐
12	子育てについて	☐	☐	☐	☐	☐
13	死後について(葬儀・遺品整理など)	☐	☐	☐	☐	☐
14	地域の治安について	☐	☐	☐	☐	☐
15	地域の環境について	☐	☐	☐	☐	☐
16	地域の交通問題について	☐	☐	☐	☐	☐
17	地域の自然災害について	☐	☐	☐	☐	☐

上記以外に、日々の生活の中で不安に思っていることがありましたら、記入してください。

問3 あなたは、災害発生時への備えをしていますか。1から9について「全く備えていない」から「万全に備えている」の中で当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

		ない	全く 備えて い	ない	あまり 備えて	る	少し 備えて い	いる	万全に 備えて
1	自分や同居する家族の避難方法や避難経路の把握	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2	家族や知人同士の災害時の緊急連絡方法の共有やメモ	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3	日ごろから隣近所とのあいさつ、声かけや付き合い	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4	災害対策についての情報収集(勉強会やスマホ検索など)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5	地域での避難訓練の参加	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6	危険箇所の把握	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7	地域の支援団体(自主防災)組織※の把握	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8	支え合い連絡登録等公的支援の活用	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9	防災セットの備え	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

※地域の支援団体(自主防災)組織:地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき自主的に結成する防災組織

上記の災害の備え以外に、何か独自で備えていることはありましたら、記入してください。

--

問4 ご自宅の近隣で、ひとり暮らしの高齢者など、災害発生時に気になる方がいますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

☐ いる ☐ いない

問5 あなたは、隣近所に困っている家庭があった場合、手助けするための時間的余裕を持っていますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

☐ 持っている ☐ 少し持っている ☐ どちらともいえない
☐ あまり持っていない ☐ まったく持っていない

問6 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している 15 歳以上の家族の中で、「仕事や学校に行かず、家族以外の方と交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方」はいますか。
(妊娠中の方、病気の方、家事専業の方は除きます。)

☐ いる →問7と8へ

☐ いない →問9へ

問7 その方の年齢について、1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

- ☐ 15～19 歳 ☐ 20～24 歳 ☐ 25～29 歳 ☐ 30～34 歳
- ☐ 35～39 歳 ☐ 40～44 歳 ☐ 45～49 歳 ☐ 50～59 歳
- ☐ 60～69 歳 ☐ 70 歳以上 ☐ わからない



問8 その方は、何歳ぐらいのときからひきこもっている状態ですか。

1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

- ☐ 15～19 歳 ☐ 20～24 歳 ☐ 25～29 歳 ☐ 30～34 歳
- ☐ 35～39 歳 ☐ 40～44 歳 ☐ 45～49 歳 ☐ 50～59 歳
- ☐ 60～69 歳 ☐ 70 歳以上 ☐ わからない



問9 あなたは、ひきこもり状態にある方に対する支援として、1から9にあげる支援は重要だと思いますか。「そう思わない」から「非常にそう思う」の中で当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

		まったく 思わない	あまり 思わない	どちら ともい えない	やや そう 思う	とても そう 思う
1	身近な地域に支援機関を設置	☐	☐	☐	☐	☐
2	相談窓口の明確化	☐	☐	☐	☐	☐
3	家庭への訪問による支援	☐	☐	☐	☐	☐
4	本人や家族に寄り添った支援	☐	☐	☐	☐	☐
5	家族会の開催	☐	☐	☐	☐	☐
6	研修会の開催	☐	☐	☐	☐	☐
7	地域の中での困りごとを言いやすい仕組み	☐	☐	☐	☐	☐
8	いつでもふらっと行ける居場所づくり	☐	☐	☐	☐	☐
9	中学生・高校生およびその家族、関わる教職員に対して「ひきこもり支援」について周知する取り組み	☐	☐	☐	☐	☐

ひきこもり状態にある方に対する支援として、上記以外に重要と思う支援内容がありましたら、記入してください。

問10 ご自宅の近隣で、1から6のような問題を抱えている、もしくは抱えそうな世帯はありますか。「ある」から「わからない」の中で当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

		ある	う だ 今 後 あ り そ	わ か ら な い
1	子育てと親の介護に同時に直面し、困っている世帯(介護と育児のダブルケア問題)	☐	☐	☐
2	高齢者の親と、就労していない独身の中高年の子どもとで構成される世帯(8050問題)	☐	☐	☐
3	障がいのある子と暮らす親の判断能力に不安がある世帯	☐	☐	☐
4	高齢者だけの世帯で、高齢者同士で介護している世帯	☐	☐	☐
5	ひきこもり状態の子どもが、適切な支援に結び付けられていない世帯	☐	☐	☐
6	家族や地域との関わりがなく、社会的に孤立した世帯	☐	☐	☐

問11 あなたは、「福津市地域支え合い制度」を知っていますか。また、登録していますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

☐ 知っていて登録している ☐ 知っているが登録はしてない ☐ 知らない

※「福津市地域支え合い制度」とは、高齢者や障がい者及びこれに準ずる状態にある者が平常時、緊急時又は災害時を問わず日ごろから地域社会の中で支援を受けられるようにするための制度で、安全に安心して生活できる支え合いの地域づくりを推進することを目的としています。登録の方法等については、地域の民生委員や市役所にお尋ねください。

問12 あなたは、あなた自身や家族に身体の衰えや障がいが生じた場合、どのような支援を頼るべきか何か対策を考えていますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

☐ 考えている ☐ 考えていない

問13 あなたは、福祉サービスや各種相談窓口に関する情報をどのようにして得ていますか。あてはまるものすべてに✓(チェック)を入れてください。

- | | | |
|---|---|--|
| ☐ 広報ふくつ | ☐ 市役所などの窓口 | ☐ 市のパンフレットやチラシ |
| ☐ 市のホームページや公式 LINE | ☐ 民生委員・児童委員 | ☐ 市役所の職員 |
| ☐ 公民館 | ☐ 社会福祉協議会の職員やホームヘルパー | ☐ ボランティア団体 |
| ☐ 社会福祉協議会の広報誌(社協だより) やホームページ | ☐ 病院や薬局 | |
| ☐ ケアマネジャー | ☐ 福祉サービスの事業所やその職員 | ☐ インターネット |
| ☐ 地域包括支援センター | ☐ 新聞やテレビ・ラジオ | ☐ 家族 |
| ☐ 友人や知人 | ☐ 近所の方 | ☐ その他() |

問14 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

- ☐ 知っている ☐ 聞いたことはあるが内容は知らない ☐ 知らない

※「成年後見制度」とは、判断力が不十分な成年者(知的障がい者、精神障がい者、認知症の高齢者等)が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる方(弁護士・司法書士・社会福祉士・市民後見人)を付けて、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度のことです。

問15 あなたは、民生委員・児童委員は、国の法律である『民生委員法・児童福祉法』の規定によって指名され、活動していただいていることを知っていますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

- ☐ 知っている ☐ 知らなかった

問16 あなたは、お住まいの地区の担当民生委員・児童委員を知っていますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

- ☐ 名前も顔もよく知っている ☐ 名前だけは知っている
☐ 顔だけは知っている ☐ 名前も顔も知らない

問17 あなたは、「福津市社会福祉協議会」を知っていますか。1つ選んで✓(チェック)を入れてください。

- ☐ 名前も活動の内容もよく知っている ☐ 名前だけは知っている
☐ 名前も活動の内容も知らない

※ 福津市社会福祉協議会は、「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を目標として、地域の絆づくりや住民相互の助け合いの仕組みづくり、支援を必要とする一人ひとりの生活を支える専門的な福祉サービスの提供と拡充に努めている社会福祉法人です。福祉サービスとして様々な相談窓口や支援があります。

問18 あなたは、1から8の施設や相談窓口を知っていますか。また、利用したことはありますか。「知らない」から「知っており、利用したこともある」の中で当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

		知らない	知らない 利用したこと	知っており、 利用したことも ある
1	地域包括支援センター	☐	☐	☐
2	基幹相談支援センター	☐	☐	☐
3	基幹相談支援センター内の虐待防止センター	☐	☐	☐
4	子ども家庭センター	☐	☐	☐
5	未来共創センター(キッカケラボ)	☐	☐	☐
6	家庭児童相談室	☐	☐	☐
7	親子のための相談 LINE(福岡県福祉労働部児童家庭課)	☐	☐	☐
8	子どもホットライン 24(福岡県教育事務所)	☐	☐	☐

施設や相談窓口の案内は裏表紙をご覧ください。

問19 福津市では、「誰も自殺に追い込まれることのない福津市」を基本理念に、令和6年度より第2期福津市自殺対策計画を策定し、取り組みを行っています。あなたは自殺予防にはどのような取り組みが効果的であると考えますか。以下に示す1から9に対し、「まったく効果的に思わない」から「とても効果的に思う」の中で当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

		まったく効果的に思わない	あまり効果的に思わない	どちらともいえない	やや効果的に思う	とても効果的に思う
1	自殺のリスクを持つ市民を早期に把握するために、地域・関係機関・行政の連携強化を図る	☐	☐	☐	☐	☐
2	自殺のリスクを持つ市民にいち早く気づくことができる人材を育成する	☐	☐	☐	☐	☐
3	自殺のリスクを持つ市民が助けを求められるよう、生きる支援に関する様々な相談先などの情報を発信する	☐	☐	☐	☐	☐
4	自殺のリスクを持つ市民が「生きることの促進要因(自己肯定感、信頼できる人間関係、危機回避能力等)」を向上させられるように、安心して過ごせる居場所や生きがいがいづくりに取り組む	☐	☐	☐	☐	☐
5	児童生徒が困難や問題に直面した際に、その対処法を身に着けることができるよう、教材等を活用した SOS の出し方の教育	☐	☐	☐	☐	☐
6	こども・若者に対するこころのケアや、居場所づくり、スクールカウンセラー等による相談体制を充実させる	☐	☐	☐	☐	☐
7	生活困窮者や無職者等に対するこころのケアや、就労支援、家計相談支援などの相談体制を充実させる	☐	☐	☐	☐	☐
8	高齢者に対するこころのケアや、地域へのつながりを支援する相談体制を充実させる	☐	☐	☐	☐	☐
9	妊娠期から子育て期にある女性やDV被害にあう女性のこころのケアや、相談体制を充実させる	☐	☐	☐	☐	☐

自殺のリスクを持つ市民に対する支援として、上記以外に重要と思う支援内容がありましたら、記入してください。

--

問20 第3期福津市地域福祉計画・第2期福津市地域福祉活動計画では以下の内容について重点的に取り組んできました。あなたは、これらの取り組みが令和3年以前より充実していると思いますか。「まったくそう思わない」から「とてもそう思う」の中で当てはまる□に✓(チェック)を入れてください。

基本目標1 地域で支え合う「まちづくり」		まったく 思わない	あまり 思わない	わからない	やや そう思う	とても そう思う
1	ひとり暮らしの高齢者の見守り活動など地域での見守り体制が充実した	☐	☐	☐	☐	☐
2	生活支援コーディネーター※2の活動の認知度が高まった	☐	☐	☐	☐	☐
3	郷づくり推進協議会やその活動の認知度が高まった	☐	☐	☐	☐	☐
4	自治会の加入を促す案内が充実した	☐	☐	☐	☐	☐
5	市内の児童生徒が積極的に地域活動に取り組んでいる姿を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
6	地域に開かれた信頼される学校づくりを目的とした「地域学校共働活動」が充実した	☐	☐	☐	☐	☐
7	ファミリーサポート事業を通じて、子育ての手助けが必要な人と手助けしたい人との相互援助活動が充実した	☐	☐	☐	☐	☐
8	高齢者や障がい者に寄り添った生活支援、移動支援、買い物支援が充実した	☐	☐	☐	☐	☐
9	未来共創センター(キッカケラボ)の名称や講座等の情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
10	令和3年以前よりも、地域のつながりづくりを目的とした支援や活動が充実した	☐	☐	☐	☐	☐

※2 生活支援コーディネーター(SC)は、地域の「あること(社会資源)」と「あったらいいな(地域ニーズ)」を見つけ、つなぎ合わせたり足りないものを新たに創るための支援を行い、地域における支え合いの体制づくりを進めていく役割を担っています。

基本目標2 誰もが安心して暮らせる「まちづくり」		まったく 思わない	あまり 思わない	わからない	やや そう思う	とても そう思う
11	「避難行動要支援者」に関する情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
12	各戸配布された「福津市総合防災マップ」や地域の防災訓練を通じて、防災意識が高まった	☐	☐	☐	☐	☐
13	市民後見人に関する情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
14	子供についての心配事を相談できる、家庭児童相談室の情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
15	高齢者についての心配事を相談できる、福津市地域包括支援センターの情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
16	障がい者についての心配事を相談できる、基幹相談支援センターの情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
17	虐待防止についての取組や情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
18	令和3年以前よりも、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目的とした支援や活動が充実した	☐	☐	☐	☐	☐

基本目標3 いつでも相談できるまちづくり		まったく 思わない	あまり 思わない	わからない	やや そう思う	とても そう思う
19	地域の民生委員・児童委員についての情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
20	経済的な理由により就学困難な児童生徒の相談先の情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
21	生活が困窮している市民の相談先の情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
22	子育て家庭の保護者が相談できる、子育て支援センターの情報を見かけるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
23	令和3年以前よりも、いつでも相談できるまちづくりを目的とした支援や活動が充実した	☐	☐	☐	☐	☐